

れいはいはさいこうのしゅくぶ

まいにち
れいはい

わたしを あいしてくださる かみさまに
さいこうの えいこうを ささげましょう



かねもちと ラザロの たとえ

いのり

しかいしゃ

しとしんじょう

みんなで

さんび

さんびか 138 ばん (おうのおう しゅイエスの) いつもかんしや (2017 ねんこどもさんび)

せいしよ

ルカ 16:19~31

ルカ 16:19~31 ある金持ちがいた。いつも紫の衣や細布を着て、毎日ぜいたくに遊び暮らしていた。ところが、その門前にラザロという全身おできの貧しい人が寝ていて、金持ちの食卓から落ちる物で腹を満たしたいと思っていた。犬もやって来ては、彼のおできをなめていた。さて、この貧しい人は死んで、御使いたちによってアブラハムのふとところに連れて行かれた。金持ちも死んで葬られた。その金持ちは、ハデスで苦しみながら目を上げると、アブラハムが、はるかかなたに見えた。しかも、そのふとところにラザロが見えた。彼は叫んで言った。『父アブラハムさま。私をあわれんでください。ラザロが指先を水に浸して私の舌を冷やすように、ラザロをよこしてください。私はこの炎の中で、苦しくてたまりません。』アブラハムは言った。『子よ。思い出してみなさい。おまえは生きている間、良い物を受け、ラザロは生きている間、悪い物を受けていました。しかし、今ここで彼は慰められ、おまえは苦しみもだえているのです。(19-25)』

みことば

かねもちと ラザロの たとえ

しかいしゃ

金持ちは、良い服を着て、毎日ぜいたくに遊び暮らしていました。その家の門の前には、ラザロという貧しい人が、全身おできのからだで寝ていました。時間が過ぎて、ふたりとも死んで、貧しいラザロは天国に行き、金持ちは地獄に行きました。金持ちは、飲む水が一滴もない地獄の永遠な苦しみに苦しんでいました。金持ちはこの世に生きている兄弟たちにラザロを送って、地獄に来ないように言ってやってほしいと、父アブラハムに頼みます。しかし、父アブラハムは言いました。死んだ人はもう一度、この世に行くことはできないし、この世にいる伝道者のことばを聞かない者は、ラザロが行ったとしても、聞かないだろうと言いました。この世に生きている間に、ただイエス・キリストが神様に会おう道だという事実を信じなければ、天国に行くことはできません。生きている間にイエス・キリストを信じなければ地獄に行くのです。愛する人たちがイエス・キリストを信じて神様に会うようにお祈りしましょう。

いのり

いっしよに おおきなこえで

いのりましょう

ちちなる かみさま、ありがとうございます！ イエス・キリストを しんじて かみのこどもになるようにして下さって ありがとうございます。 まだ しんじていない かぞくと ともだちが きているときに イエス・キリストを しんじて かみのこどもになるように たすけて ください。 イエスがキリストであることを つたえる でんどうしゃに ならせて ください。 イエス・キリストの おなまえによって おいのりします。 アーメン

しゅのいのり

いっしよに しゅのいのりを いのって れいはいを おえましょう

フォーラム

きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょう



11日

12日

13日

14日

15日

16日



まいにち
チェックしよう

げつよう

かよう

すいよう

もくよう

きんよう

どよう

113とは、みことばを 1にち 3かい 3かいずつ よめば
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。

あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう

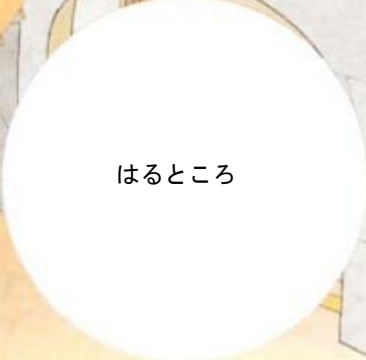
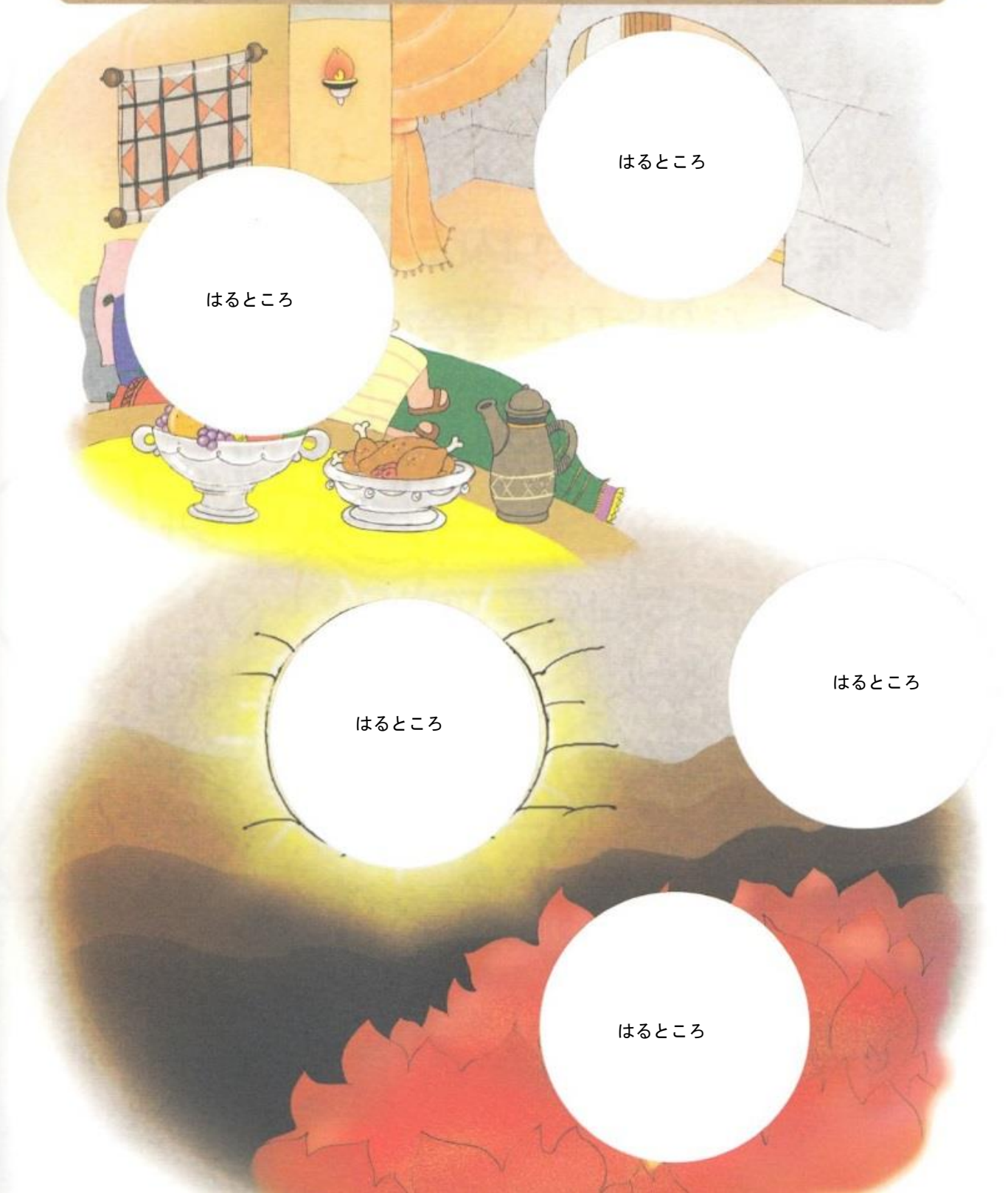


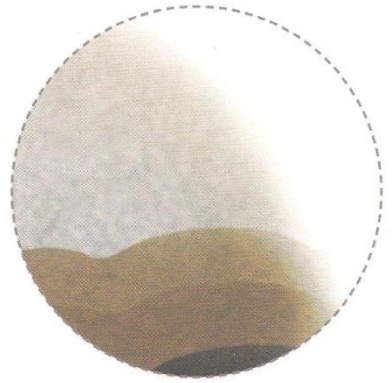
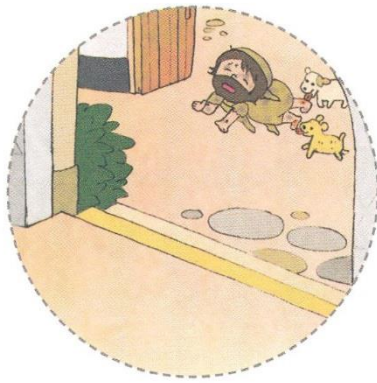
そして、にんげんには、
いちど しぬことと
しごに さばきを
うけることが
さだまっているように、

ヘブル9しょう27せつの みことば

ひとは いちど しぬことが きまっています。 しんだ あとに
 さばきが わたしたちを まっています。 かみさまに あった ひとは
 しんで てんごくに いきますが、 かみさまに あわなかった ひとは
 じごくに いきます。 それゆえ わたしたちは かみさまを しらない
 ひとに かみさまに であう みちである イエス・キリストを つたえ
 なければ なりません。 かみさまを しらない ひとたちが かみさまに
 であうことが できるように いのりながら つぎのページから したの
 えに あうものを きって はりましょう。

じゅんびする もの： はさみ のり つぎのページ





きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど
かんがえてみましょう。したの ないようを よんで
じゅうような たんごを なぞって かきましょう



しんだ ひとは もういちど、このよに
いくことは できないし、このよに いる
でんどうしゃの ことばを きかない ものは、

ラザロが いったとしても、
きかないだろうと いました。

このよに いきている あいだに、

ただ イエス・キリストが

かみさまに であう みちだ という

じじつを しんじなければ、

てんごくに いくことは できません。

いきている あいだに イエス・キリストを

しんじなければ じごくに いくのです。

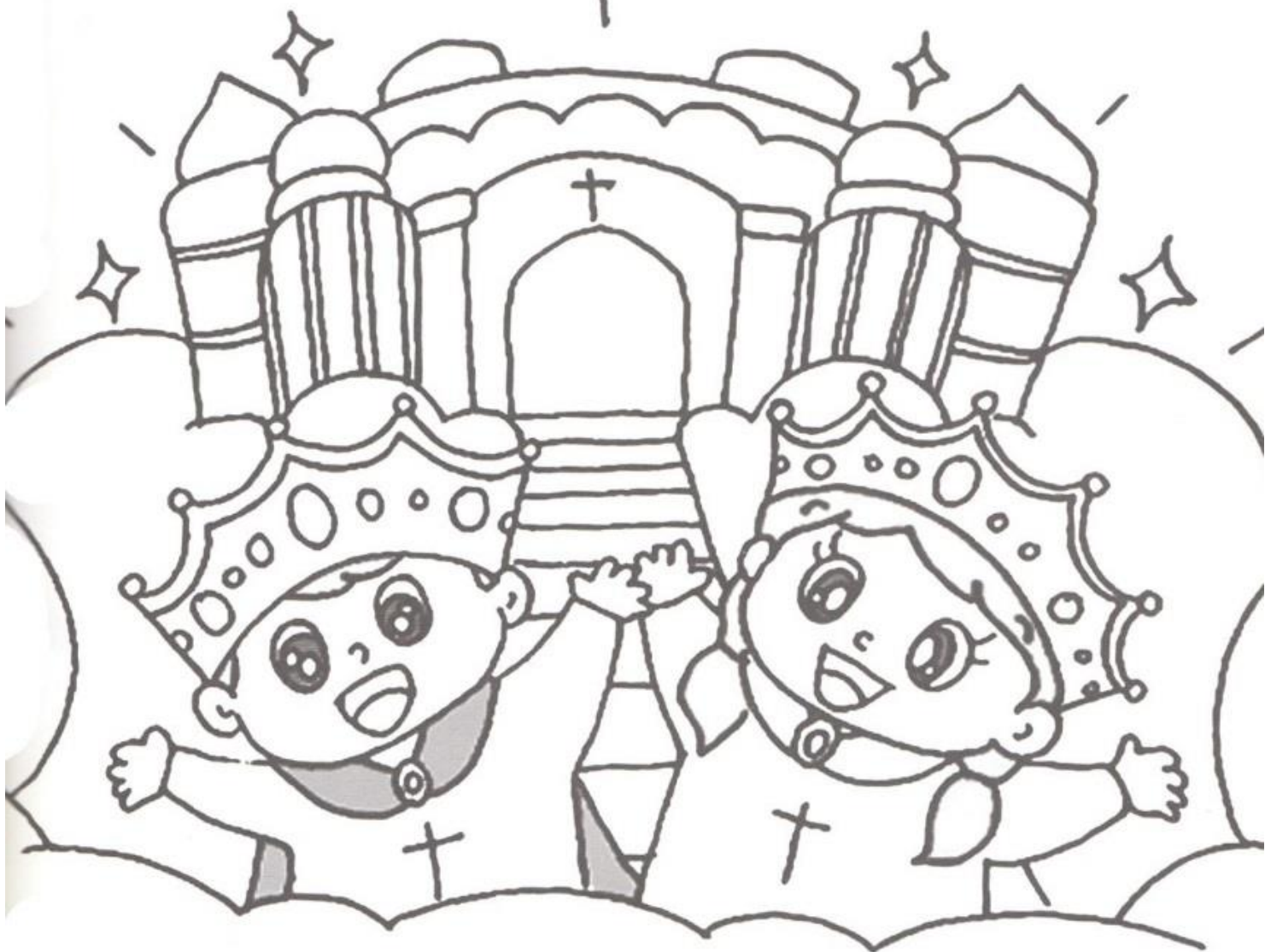


かくれている えを みつけたり きれいに いろを
ぬったり しましょう

だれでも いきている あいだ イエスさまを キリストとして
しんじれば かみさまに であうことが できて てんごくに いくことが
できます。 しんでは かみさまに であうことは できません。
わたしたちは かみさまが くださった しゆくふくを あじわって
おおくの ひとを いかす でんどうしゃです。 したの えを
きれいな いろで ぬって いのりましょう。



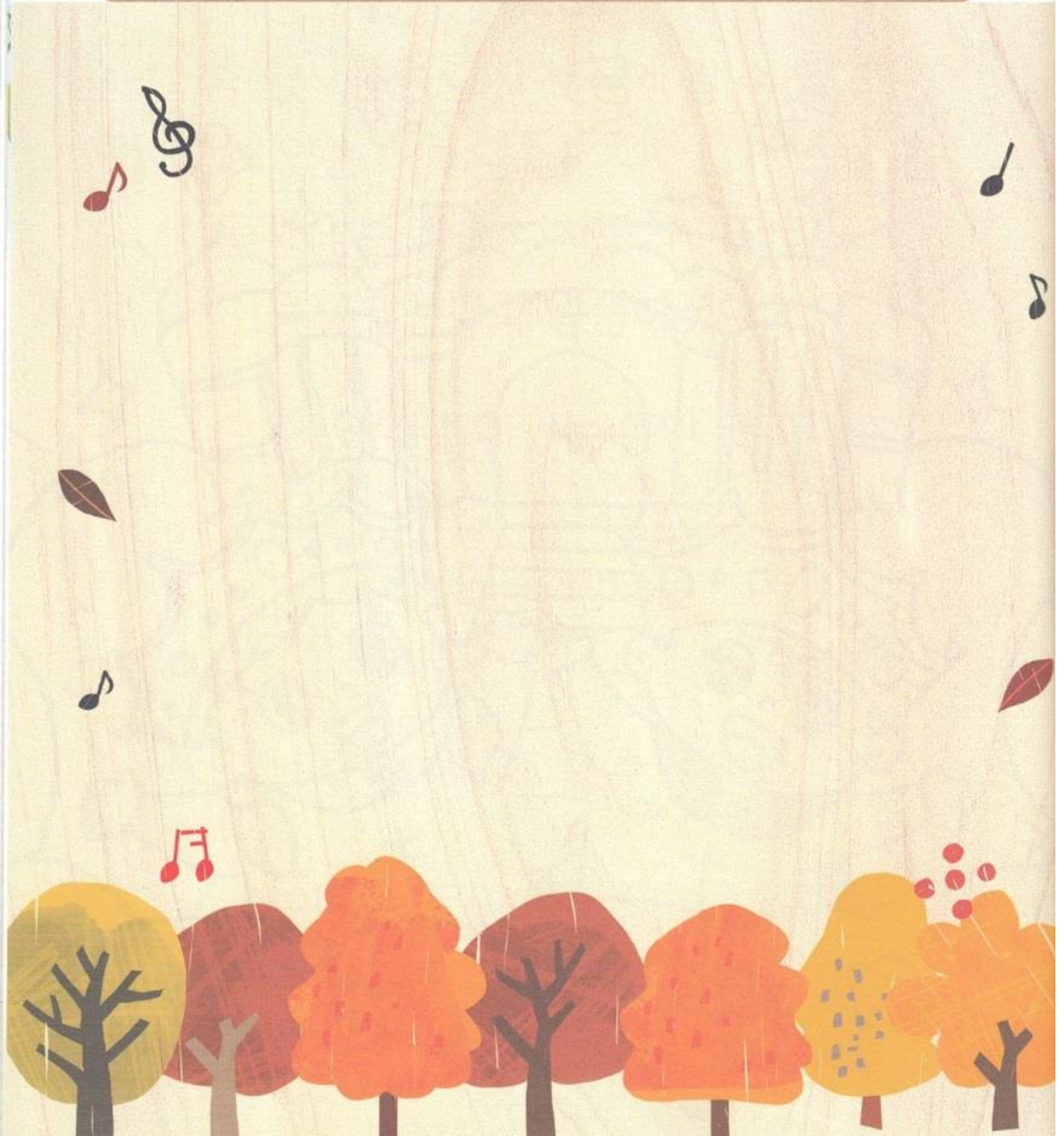
てんごくの たみ



えいえんの いのち

パパとママと いっしょに おはなしして
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを
えて ひょうげんしましょう。

イエス・キリストを しんじる わたしたちは あとから てんごくに
いきます。そして わたしたちは このよに いきている あいだに
いく ところ すべてに てんごくの はいけい (かみのくに) を
あじわうことが できます。どのように あじわうことが できるの
でしょうか。 パパとママと いっしょに てんごくの はいけいに
ついて はなしてみても じか えて ひょうげんしましょう。



たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを
こころに きざみましょう

かみのこども ですが ときどき もんだいが くるときも あります。
しかし だいじょうぶです。 かみさまが わたしと ともに おられる
ために かみさまが たすけて くださいます。 わたしたちは かみの
くにの おうじ おうじよです。 パパとママと いっしょに
おうかんを つくって かみさまが くださった みぶんと しゅくふくを
いのりで あじわいましょう。



じゅんぴする もの : はさみ、のり (テープ)、つぎのページ



じゅんぴするものを そろえます



まわりの せんに そって
きりぬきます



おうかんの はしに のりをつけて
かたほうを まず はります

おうかんを つくろう



おうかんの おびを わたしの あたまに
あうように して もう かたほうも
のりで はります。



わたしたちは かみのくにの おうじ おうじよです。
いのりで かみさまが くださった
みぶんと しゅくふくを あじわいましょう。



全体の長さをこどもの頭のまわりに合うように調節したあと、おびのつなげる部分にのりかテープをつけてください

